

計画全般について	ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
	計画全般	これまでも大磯町宛の都市計画に対する意見書の中で提案させていただいたものと重複するものもありますが、くれぐれもよろしくご検討のほどお願いいたします。 国営昭和記念公園のHPを拝見し、昭和記念公園は広大な敷地に様々な施設が点在している素晴らしい公園であることを知りました。そこでの経験を生かして、明治記念大磯邸園を次世代に渡って町民をはじめ多くの方が明治期の歴史を肌で感じ、その文化や自然を楽しむことができる公園にしてくださいませよう祈念いたします。	国営公園のノウハウを生かし、次世代に渡って町民をはじめ多くの方が明治期の歴史を肌で感じ、その文化や自然を楽しむことができる公園にしたい。	
	計画全般	昨年の末に大磯在住の友人に誘われて、記念公開に参加しました。 ①隣の市ではありますが、このような歴史が身近にあったことにとても驚きました。何より、今まで「教科書の中の人」で授業でも1時間あるかないかの授業で暗記した伊藤さんをはじめ、数人の方々の血の通ったエピソードに触れて明治という時代が「この世にあった出来事で自分たちに繋がっている」と感覚でき、そこは私も驚いています(笑) ②当時の空気感のあるこの建物群が保存されること、嬉しく思います。 同時に、私たちと同年代の人にもこの邸園に触れて欲しいなと思いました。	当時の空気感のあるこの建物群が保存されること、嬉しく思う。	
	計画全般	私は、1999年に鳥崎藤村の家を見学に来て、1941年に藤村が左義兵を見物して、それを機に大磯に引っ越してきたということを知りました。私はそれを知ってから2000年に大磯ブレイスに夫婦で引っ越してきました。以前は庭付きの家に住んでいましたが、こちらでは集合住宅ということで快適な生活を送っております。大磯の松並木はじめ、こゆるぎの浜、大磯私出公園などは、散歩コースになっています。 今回の「明治記念大磯邸園」については、とてもいい企画であると思っております。平成が終わろうとしている今、明治、大正、昭和と先人たちの歴史的遺産を次の時代に伝えていくことが今を生きる私たちのつとめであるように感じています。	とてもいい事業であると思う。明治、大正、昭和と先人たちの歴史的遺産を次の時代に伝えていくことが今を生きる私たちの務めであるように感じている。	
	計画全般	旧伊藤博文邸や旧古河邸、さらに旧池田邸が整備され、歴史的に重みのある大磯が、ますます魅力的になりますことを心より祈念いたします。	歴史的に重みのある大磯が、ますます魅力的になりますことを心より祈念する。	
	計画全般	明治記念大磯邸園基本計画案の説明会に出席し、その説明と配付資料を拝見し、その実現に多に期待します。	事業の実現に多に期待。	
	計画全般	この度の計画は、大磯町はもとより周辺の市や街にとって画期的なことと感謝しております。是非ともダイナミックに進めて欲しいと願っております。 残念ながら地元の一部の人達には、目先の事にとられ「賑わうのは煩くて困る」、「町の負担が心配」などと言っている人もいますが、こんなチャンスは二度とない、と考えています。最近、「大磯町の身の丈に合った」と言った批判がありますが、大磯町の身の丈の基準をどこに置くのか大いに疑問です。宅地の価格や住環境を基準にすれば数段のupが必要です。 (大磯町には新しい物や事にまず批判する傾向が非常に強いです。しかし、周辺市や街の人達は羨ましがってます。)	大磯町はもとより周辺の市や街にとって画期的な計画と感謝する。一部には「賑わうのは煩くて困る」、「町の負担が心配」などと批判される方もいるが、こんなチャンスは二度とないと思う。	本計画に掲げる基本理念や基本方針を踏まえ、貴重な歴史的資産を次世代に継承するとともに、地域の文化の発信や交流の拠点となることができるよう、国、県、町が連携して事業を進めてまいります。
	計画全般	まずは、大磯生まれ大磯育ちの自分として子供の時は気づかなかった、大磯の特に明治以降の歴史遺産として価値のある、政治・財界・文化の教々がそれぞれの事情により失われていく中、歴史的建物の中で未公開のまま、とり残されていた最後の物件が、国の力で民間から買収され、一般に公開される事に至ったことに感謝いたします。	歴史遺産が失われていく中、国の力で民間から買収され一般に公開される事に至ったことに感謝する。	
	計画全般	近代の日本の礎を築いた明治の元勳達が過ごした建物や庭は、今後の日本においても大変貴重な文化財であり、それを国が守り伝えて頂ける事は国民として大変嬉しいことです。出来れば当時の状態を忠実に保存して頂き、その空間を一般国民が体験できるように保存公開して頂くこと切に願います。公園として整備活用するための施設は出来るだけ最小限とし、当時の状態をなるべく公開して下さい。是非私も伊藤博文公が歩いた庭を歩いてみたいです。宜しくお願い致します。	今後の日本においても大変貴重な文化財であり、それを国が守り伝えて頂ける事は国民として大変嬉しい。公園として整備活用するための施設は出来るだけ最小限とし、当時の状態をなるべく公開してほしい。	
	計画全般	大磯は、古くは国府が置かれ、また、江戸時代には東海道五十三次の宿場町として栄えたとなっているが、特長のない平凡なまちではなかったかと思えます。ところが、明治のころから松本順先生が海水浴場を開いたことにより、伊藤博文をはじめ多くの政財界人・文化人がこぞって、大磯に住居として、また別荘として構えるようになり、保養地、別荘地として全国に名をはせる町になりました。 関東大震災や太平洋戦争において、多くの建物が崩壊しましたが、再建された建物も数多くあり、私が子どものころには、まだまだ、大きなお屋敷がたくさんありました。残念ながら、あまりにも敷地が広く、どんな建物が建っていたのかは、わかりませんでした。 近年では、そういったお屋敷が集合住宅や分譲住宅に変わってしまい、それらの別荘が消えていくことが、町民として、寂しく、残念でなりません。この小さな町の財政事情から大きな敷地を買い、保存することなど到底無理な話でしょう。 しかしながら、旧吉田茂邸を西武グループが手放そうとしたときは、大磯の町民だけでなく全国から大勢の方々の支援もあって、建物は残念ながら焼失してしまいましたが、神奈川県が県立公園として整備し、見事に再生しました。現在では、多くの観光客が全国からみえています。町民の誇りとなる歴史的遺産です。 そうした中で、今回は、民間企業等の御努力により、奇蹟的に今まで残っている3つの大きなお宅を、このような計画のもとに整備されることは、大変喜ばしいことでもあります。ご尽力をいただきました関係者の方々には、大磯町民として深く感謝申し上げます。 基本計画を拝見しましたが、大磯の別荘文化が再生されるとともに、歴史を学ぶ場として、また憩いの場として整備されることになり、また1つ大磯町民が誇れる歴史的遺産を残すことができたいと思います。 私もあと何年生きられるかわかりませんが、是非とも私の生きているうちにこの計画が完成されることを望みます。このあたりを毎日散歩できることを心待ちにしています。長文になりましたがよろしく申し上げます。 大磯を愛する老人より	民間企業等の御努力により、奇蹟的に今まで残っているお宅を、このような計画のもとに整備されることは、大変喜ばしい。ご尽力をいただいた関係者の方々には、大磯町民として深く感謝申し上げます。 大磯の別荘文化が再生されるとともに、歴史を学ぶ場、憩いの場として整備されることになり、旧吉田茂邸に次いで、また1つ大磯町民が誇れる歴史的遺産を残すことができたいと思います。	
	計画全般	明治期の立憲政治の確立等に関する歴史的遺産の保存・活用のため、大磯町の旧伊藤博文邸を中心とする建物群及び緑地を明治記念大磯邸園として整備する事業は、大磯町のみではなく日本国にとって大変意義のある計画と思います。	当事業は、大磯町のみではなく日本にとって大変意義のある計画と思う。	
	計画全般	「立憲政治の確立は重要な取組の一つであり、明治150年を機に、その意義や歴史を学び、次世代に残していくことが求められています。」とあるが、大日本帝国憲法下で日本は第二次世界大戦という侵略戦争に参加した。立憲政治の確立というのが、すべてを是とするのではなく、このような問題も理解できるような事業とすべきである。	「立憲政治の確立は重要な取組の一つであり、明治150年を機に、その意義や歴史を学び、次世代に残す」というのが、全てを是とするのではなく、歴史の問題も理解できるような事業とすべき。	本計画の「基本方針」において、本邸園の整備及び管理運営にあたっては、「訪れた人々が、往時に思いを馳せながら、歴史的資料のアーカイブ化や展示等の取組により立憲政治の確立等の歴史や意義を学び、理解を深めることのできる空間を整備」することとしています。展示等の実施にあたっては、関連する歴史文化施設等と連携を図り、いただいたご意見もふまえながら、来場者が歴史を多面的・多角的に考え、学ぶことのできるよう展示等を検討してまいります。

基本理念・基本方針について

ご意見の分類	ご意見（原文）	ご意見の概要	見解・対応
邸園文化	「湘南の邸園文化」は存在したのか。意味の無いネーミングは歴史の軽視につながるので、やめるべきである。	「湘南の邸園文化」は存在したのか？ 意味の無いネーミングは歴史の軽視につながる。	湘南の「邸園文化」とは、神奈川県が推進している「邸園文化園再生構想」に由来しています。 この構想では、相模湾沿岸地域一帯に残る邸宅、庭園や歴史的建造物について、官民協働により、新たな文化発信の場として、また、地域住民と来訪者による多彩な交流の場として、保全活用することにより、地域の活性化につなげることをされています。大磯を含む相模湾沿岸地域一帯は、明治期から別荘地・保養地が形成され、政財界人や文化人が滞在・交流する地域として発展し、これらの邸園等を舞台に育まれた、文学・芸術・芸能・スポーツ等の様々な市民活動や文化芸術活動を湘南の「邸園文化」と称しております。本邸園は代表的な「邸園」の一つであることから、この構想との連携が重要との認識の下、本計画の中で「湘南の「邸園文化」という記載をしています。

風致の保全について

ご意見の分類	ご意見（原文）	ご意見の概要	見解・対応
風致の保全	白砂青松は英、白砂はありません。	白砂はないので、白砂青松とするのはおかしのでは。	「大磯町景観計画」において、「江戸時代を整備が始まった東海道（国道1号）の街並筋の松並木と、日本の別荘文化と湘南の近代リゾート発祥のまきがけとなった明治期以来の旧保養別荘地（邸園）は、そのいくつかが今も往時の姿のまま現存し、丘陵の緑と白砂青松の海岸の風景と相まう佇まいを持ち、大磯の景観の特色であるとともに象徴にもなっています。」と記載されています。このことを踏まえ、「白砂青松のこゆるぎの浜」として、風致を構成する要素に設定しています。
風致の保全	吉河邸前の国道にある雑木を松に植え替える（国道の松並木他）	邸園前の国道にある雑木を松に植え替えてはどうか。	本計画の「風致保全計画」において、国道1号の松並木は重視する構成要素の一つとしております。いただいたご意見も参考しつつ、松並木が保全されるよう道路管理者等の関係機関と連携してまいります。
緑地の管理	グリーンベルトは、自転車道全体を含めていただきたい。街の提供公園の松、土地の管理整備を強く望みます。今は、放置され、枯れ松の伐採もされず居住者泣かせとなっている現状です。	邸園南側の緑の連続性の創出は、太平洋岸自転車道全体を含めてほしい。	「広く検討を有する動線」について、関係機関と協議する際の検討事項とさせていただきます。

施設計画について

ご意見の分類	ご意見（原文）	ご意見の概要	見解・対応
保存・修復等の考え方	保全などの対象歴史的な統一 「表1保存修復等の目安とする時代」によると「旧澁浪閣邸宅旧李家別邸（昭和初期）伊藤博文邸（明治中期）の庭園」のように時代が異なるものを組み合わせるようである。新たに手を加えるならば、当然時代は揃えるべきであり、それができないならば費用面だけでなく正しい歴史を伝えるという観点から手を加えるべきではない。また、邸宅旧池田成彬邸（昭和初期）は時代も新しく、これを公共の資金で保全する意義は、歴史的貢献という観点からは低いのではないかと。費用を抑えるためにも、重要なもののみを対象とすべきである。	旧澁浪閣は、旧李家別邸（昭和初期）の邸宅を保存・修復し、伊藤博文邸（明治中期）の庭園を再現するようであるが、新たに手を加えるならば、当然時代は揃えるべきであり、正しい歴史を伝えるという観点からも手を加えるべきではない。 また、西園寺別邸跡の旧池田邸（昭和初期）は時代も新しく、これを公共の資金で保全する意義は、歴史的貢献という観点からは低いのではないかと。	ご意見のとおり、本邸園の邸宅はそれぞれ建築された時代が異なります。このため、本計画の「施設計画」において、積層する歴史を踏まえ、現存する邸宅及び庭園が有している歴史的・文化的価値を保存し、後世に継承するための保存・修復を行うことを基本的な考えとしております。 旧澁浪閣の庭園については、バンケットにより歴史的景観が失われているため、歴史的資料を踏まえて明治期の庭園を再生することとしています。また、旧池田邸については、西園寺公望が使用していた「場」の歴史を伝える貴重な歴史的建物との考えのもと保存・修復し、来園者の休憩や飲食等の場として活用することとしています。
旧澁浪閣	大磯邸園にあっては旧澁浪閣部分の玄関口としての機能が重要であると考えている。 ここには展示スペースだけでなく、学びの場となるようなキャンパス機能、コンサートや演劇などが行える小ホール、また来訪者をもてなすカフェと一体となったライブラリーなどを整備することで、邸園が湘南の新しい文化醸成・発信の拠点（邸園文化の発信、食文化の再興、芸術の振興）となり、また地域にとっても地域課題の解決（地域産業の振興、地域の魅力向上、コミュニティの醸成）を同時達成することで広く多くの方が繰り返し訪れるような施設にしてほしい。またそのためには子育て世代にも配慮し、キッズスペースなども必要であると考えている。 ニューヨークのセントラルパークには公園と合わせて美術館や博物館が集積している。そこは公園であるが、アートや文化の発信拠点にもなっている。また公園の運営についても近年では民間の力を運営に活かす動きも目立つようになってきた。 大磯でもすでに地域住民間該団体が連携して県の大磯港を活用し、湘南地区の魅力発信や活性化を目的に大磯市（いち）という県下最大級の朝市を運営している。 大磯市の実行委員は公共空間の運営について100回以上の開催実績を有しており、運営に参画、協力させていただきたい。 △大磯市実行委員会とは△ 大磯・二宮町漁業協同組合、大磯町観光協会、大磯町商工会、大磯港みなとまちづくり協議会、大磯逸品の会、NPO法人大磯だいごす倶楽部、NPO法人大磯ガイドボランティア協会、NPO法人西湘をあそぶ会	旧澁浪閣のメインエントランスは、展示スペースだけでなく、学びの場となるようなキャンパス機能、コンサートや演劇などが行える小ホール、カフェと一体となったライブラリーや、キッズスペースなどを整備し、広く多くの方が繰り返し訪れるような施設にしてほしい。	本計画の「施設計画」において、旧澁浪閣に配置するメインエントランスには、来園者の滞留等可能な空間やガイダンス空間を設けることとしています。メインエントランスが担う具体的な機能や施設内容については、ご意見も参考しつつ、今後検討を進めてまいります。
施設計画	p34の施設計画(3)主な施設についての意見です。 1)①旧澁浪閣は、資料展示や学習の場としての公開、②旧大隈陸奥邸は資料展示、③西園寺別邸跡は休憩や飲食物販の機能の導入など来園者が快適に過ごすことができる場として、建物を利用していくと書いてあります。また、2)エントランスは、来園者の滞留等可能な空間、本邸園のガイダンス空間、3)は駐車場、4)のその他施設はベンチや休憩施設トイレ等を配置とあります。大磯邸園は、全体で約62haあり、多くの人に来るとは思いますが、これしか書いてありません。今ある建物を書いてあるだけの使い方は、1回来ただけで何回も来たいとは絶対思えません。 去年、お庭や建物を見させていただき、大変素晴らしいと感じました。あの建物は、あの建物のままであったから良かったので、中をいじってしまったら白無しになってしまいます。澁浪閣も昔の中津レストランの時を知っているので、広さなどは分かってはいますが、多分、結婚式の所は壊されると聞いています。西園寺さんの建物も昔見た資料で大きさは分かってはいましたが、今回、改めて、資料を見て、大隈さんと陸奥さんのお屋敷と同じようなものではないかと思いました。この計画は、今の建物を使った考え方が書いてありますが、この建物の大きさを考えて、書いてあるような使い方をしただけで、本当に何回も来たくなるようなものにはならないと私は思います。 何人も人が来たくなるものにするためには、澁浪閣や大隈さん、陸奥さん、西園寺さんのお屋敷以外に新しい建物をつくる必要が絶対あると思います。そこに、レストランや、お土産物を買ったり、大磯を紹介できたり、講演会ができたりする会場などを入れれば良いのです。この計画書は、今ある施設を残していくことは勿論ですが、何回も来てもらえるようなものにするのが感じられません。町長は明治記念大磯邸園を期待しています。私もボランティアなどに携わりながら、町のためにも少しでもお役に立ちたいと思っています。是非とも、大磯町が誇れるものになるよう考えていただきたいと思っています。よろしくお願いします。	今ある建物を書いてあるだけの使い方は、何回も来たいとは絶対思えません。 飲食・物販や町の紹介、講演等可能な新しい建物をつくる必要がある。	本邸園におけるリピーターの確保は重要と考えています。本計画の「施設計画」において、旧池田邸に飲食・物販の機能を導入することとしています。また、「管理運営方針」において地域の歴史文化資産等と連携し、広域的な高遊観光ネットワークの形成を目指すこととしており、効果的な地域の情報発信に努めてまいります。

旧大隈邸・旧陸奥邸	旧大隈邸・旧陸奥邸の石垣は、安全面や歩道の広幅のために現状維持は難しいようですが、あの石垣が旧東海道松並木の風情を保ち、当時の面影を現在に残すのに大きな役割を果たしています。セットバック時には石垣をそのまま移動するようにしてください。	旧吉河別邸の石垣は、旧東海道松並木の風情を保つものであるため、セットバックする際もそのまま移動するなど活かしてほしい。	本計画の「施設計画」を踏まえ、来園者の安全を確保しつつ、できる限り現在残されている部材等を活用するよう努めてまいります。
飲食物販施設	大磯は食事のできる場所が少ないので公園内に食事のできるようなところがあったほうがいいのでは？	大磯は食事のできる場所が少ないので、園内に飲食施設があったほうが良い。	本計画の「施設計画」を踏まえ、西園寺別邸跡では、椅子座のため滞留空間として適していることや、邸宅と庭園を一体的に活用することができる特徴を活かして、来園者の休憩や飲食・物販の機能を導入するなど、来園者が快適に過ごすことができる場とすることとしており、今後、具体化に向けた検討を進めてまいります。
飲食物販施設	大隈邸陸奥邸の区域内および池田邸区域内に地場産の物販売店、又はスペースを設置して下さい。その事により、少しでも地域の活性化につながるのではないかと思います（町民の就労の場が広がる）。	地元特産品の販売スペースを設置してほしい。町民の就労の場が広がる。	
飲食物販施設	12月28日開催の第3回明治記念大磯邸園に関する基本計画検討委員会資料の、3「施設配置計画」では旧西園寺邸において「飲食物販など来園者の利便性を図る施設として活用」とあるが、3月9日の説明会では、飲食物販の説明はなかった。この案は廃案として理解して良いか。廃案でなければ説明不十分であり再度住民への説明を求める。（第一種低層住居専用区域内でのレストラン営業は用途制限に反しており、厳に諫んでいただきたい。）	飲食・物販施設は設置するのか。第一種低層住居専用区域内でのレストラン営業はやめるべき。	本計画の「施設計画」において、西園寺別邸跡では、椅子座のため滞留空間として適していることや、邸宅と庭園を一体的に活用することができる特性を活かして、来園者の休憩や飲食・物販の機能を導入するなど、来園者が快適に過ごすことができる場とすることとしています。また、先の記念公開時のアンケート等からも、本邸園における飲食・休憩施設の設置に関する要望も一定程度寄せられていることから、飲食・物販機能の導入を今後検討することとしています。 なお、西園寺別邸跡の区域については、北側の用途地域は第一種住居地域となっており、飲食・店舗等の設置も可能とされています。南側の用途地域は第一種低層住居専用地域となっていますが、特別用途地区に指定されており、歴史的建造物を生かした観光の核づくり事業の推進に資するものであれば、飲食店・物販施設の設置も可能とされていますので、周辺の住環境への十分に配慮しつつ検討してまいりたいと考えています。
野外音楽堂	野外音楽堂の建設には反対です。 近隣住民の住環境(静けさ)を守っていただける様な静かでゆったりとした公園になる様、希望します。	野外音楽堂の建設はやめてほしい。静かな公園を希望する。	本計画において、野外音楽堂の建設は計画していません。「施設計画」において、西園寺別邸跡の区域においては、多様な来園者が憩い、互いに交流できる園路や広場等を設けることとしております。また、本邸園の境界部については、周辺の住環境や景観に配慮した植栽等の設えを検討することとしております。ご意見も踏まえつつ、周辺の住環境に十分配慮した当該広場等の整備・管理運営を検討してまいります。
交流広場	旧池田邸の境界付近の住民です。旧池田邸の森が気に入って住んでいます。ここのエリアを交流広場に作る計画に反対します。特にありふれた芝生広場や箱物を建てるのは悪しき事業だと考えます。静かに散策できる程度が良いと思います。竹林を取り除くのはやむを得ないかもしれませんが、その場合、周辺住居との境界線沿いには、騒音を減へする樹木の植林をお願いいたします。こゆるぎ緑地など、林の木はできるだけ切除しないようお願いいたします。	旧池田邸の境界付近に居住し、旧池田邸の森が気に入っている。ありふれた芝生広場や箱物ではなく、静かに散策できる程度が良い。 周辺住居との境界線沿いには、騒音を減へする樹木の植林をお願いしたい。	旧池田邸の区域内の松林については、特別緑地保全地区に指定されている区域もあることから、「植栽計画」において、過密化した松の間伐や松枯れ木の処理等を行い、保全を図ることとしています。 町民をはじめ来園者の憩いの場がほしいという意見も一定程度寄せられています。このようなことから、旧池田邸の区域については、「施設計画」において、現存する旧池田邸を保存・活用して、来園者の休憩や飲食・物販の機能を導入するなど、来園者が快適に過ごすことができる場とすることとしており、また、「植栽計画 ③交流広場の整備」において、「交流広場の整備」に関しては、過密化した竹や、ハリエンジュ等の外来種を間伐し、現存する松の高木を活かした松の疎林と開放的な草地の広場を目指す」としてあります。 このように、既存樹木の保全を基本としながら交流広場の整備を行うこととしており、いただいたご意見も参考にしつつ、具体の検討を進めてまいります。
憩いの場	コンセプトはよくわかりました。 しかし、単なる観光施設、外から人を呼びこむだけのものではなく、町民の憩いの場的要素を含んだものにしてほしい。 また、町内の子供たちにとって教育的意味を持たせてほしい。郷土の財産なのでから。	町民の憩いの場的要素を含んだものにしてほしい。	本計画の「基本方針」の一つに「歴史的遺産を活用した文化の発信、憩いと交流の拠点を創出する」を位置付け、来園者や地域住民の方々の憩いの場を確保することとしています。ご意見も参考にしつつ、具体の検討を進めてまいります。

バンケットホールについて（旧滄浪閣）施設計画

ご意見の分類	ご意見（原文）	ご意見の概要	見解・対応
旧滄浪閣	滄浪閣のバンケットホールを壊して庭園を再現すると、本日3月9日の説明会で伺いました。このバンケットホールをリフォームしてコンサート会場や芸術家の作品の個展など展示したり、文化芸術歴史の象徴としてのバンケットホールを生かしてほしいです。	バンケットホールをリフォームしてコンサート会場や芸術家の作品の個展など展示したり、文化芸術歴史の象徴としてのバンケットホールを生かしてほしい。	本計画の「施設計画」において、邸宅以外の用途で増改築された既存の施設等は、風致の保全及び公園利用の観点から、必要に応じて改修・解体を行うこととしています。これを踏まえ、旧滄浪閣においては、既存施設の一部撤去等を行い、古写真等の既往資料をもとに庭園や松林を再生し、邸宅から庭園、松林、海へと散策できる場にするとしています。バンケットホールは、保全する風致にはそぐわないというご意見も頂いており、解体を前提に考えておりますが、一部分の利用の可否については、今後、検討してまいります。
旧滄浪閣	西武の作った滄浪閣のバンケットホールは、町民にとってコミュニティホールとして、文化祭や講演会のスペースとして意義のあるものでした。是非、今回の滄浪閣改築に伴い町民から渴望されているコミュニティホールのスペース（最低200人収容可能な訪音を考慮した舞台・客席）を確保して頂きたい。	コミュニティホールのスペース（最低200人収容可能な訪音を考慮した舞台・客席を確保）を確保してほしい。	
旧滄浪閣	現在のバンケットホールは保存する風致には合致しないので、解体が適当と思う。ガイダンス等の場にする案もあるが、付近と雰囲気合った建物を新築が適するだろう。	現在のバンケットホールは、保全する風致にはそぐわないので解体が適当。新たに庭園ができることに賛同する。	
旧滄浪閣	バンケットが壊されて新たに庭園ができることに賛同します。何度も訪れたいような工夫をぜひお願いします。		
旧滄浪閣	昨年の記念公開に伺いました。大隈邸や陸奥邸がきれいな状態で残されていて大変感激しました。伊藤邸はあんなにも改変されていて残念でした。結婚式場が壊されて、庭園ができるということで大いに期待しています。		

駐車場について 施設計画

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
駐車場	滄浪園の駐車場を植林されると聞きましたが、今後、多くの人の利用を想定すると駐車場はそのまま利用の方が良いのではないかと思います。	多くの人の利用を想定すると駐車場はそのまま利用の方が良いのではないかと。	駐車場については、本計画の「動線計画」において、広域的な利用に対応するため旧滄浪園の既存駐車場の位置に配置することとしています。また、本部園の施設規模や周辺の観光施設等を勘案し、必要となる駐車台数を確保することとしています。いただいたご意見も参考しつつ、今後の検討を進めてまいります。
駐車場	大磯町民は生活環境に敏感です。まず、駐車場の台数確保は十分に、交通渋滞は困ります。出入口の安全確保は交差点や進入路(特に上り線右折あり?)に注意してください。交差点で安全誘導している方の意見を聞くと、様子がよくわかると思います。大磯駅前では大型観光バスが停車、お客さんが乗降しています。	交通渋滞がないようにしてほしい。	邸園へのアクセスの整備に関して、周辺の住環境への配慮は重要と考えております。いただいたご意見をふまえ、基本計画(案)を以下のとおり修正いたします。 4-4 動線計画 ②駐車場 3ボツ目
駐車場	・休日夕方にはかなり道路が渋滞する場所です。 <b>自家用車対策</b> が重要だと思えます。 ・伊豆方面への観光帰途にちょっと寄り道する車が駐車場に入る事を想定して、駐車場への車の誘導を考えないと混乱が起きそうです。	道路渋滞も多い箇所なので、滄浪園前など出入口の安全確保に関して、交差点や進入路に注意してほしい。	自転車や大型バス等の多様な交通手段及び周辺の住環境に配慮するとともに、神奈川県立大磯城山公園、大磯港の駐車場等の周辺施設との連携も取りながら、太平洋岸自転車道を利用したパーク&ライドについても検討します。
駐車場	滄浪園前出入口の検討(駐車場へ入る車による国道の渋滞が発生するのでは)	国道1号側の静寂が保たれる様なアクセスを考えて欲しい。	
駐車場	<b>国道1号側の松並木の道の静寂が保たれる様なアクセス</b> を考えて欲しいです。	国道1号側の静寂が保たれる様なアクセスを考えて欲しい。	
駐車場	陸奥邸園の駐車場は身障者も利用可となるバリアフリーとあるが、そこへの自動車での入り方(1号線の上下り入る)を十分検討されたい。滄浪園の駐車場においてもバリアフリーの件も考慮して欲しい。	滄浪園の駐車場においても、バリアフリーを考慮してほしい。	駐車場の整備に関して、車いすの方等にも快適にご利用いただけるよう、バリアフリー対応は重要と考えています。ご意見をふまえ、基本計画(案)を以下のとおり修正いたします。 4-3 施設計画 ②駐車場 …車いす利用者等に配慮したバリアフリー対応を行うとともに、旧滄浪園からの移動が困難な来園者に配慮し、旧大隈別邸・陸奥別邸跡側にも障がい者専用駐車場を設けます。

広く検討を要する動線 動線計画

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
動線計画	滄浪園、旧古河邸部を外に出ずに回避できるようにしてほしい。		
動線計画	入園者の動線計画が検討されていない問題点 滄浪園エリアと古河別邸エリアへの通行可能な通路が確保されていない。移動するため邸園の外に出なければならない計画では、大磯邸園の価値がない。絶対に両エリアの通行路は必要である。 <対策> 国道側の歩道の利用。場合によっては地下トンネルの設置。 南側太平洋岸自転車道に屋根を架設、その部分を通路として活用する。 費用が増しても考えてほしい。	滄浪園、旧古河邸の区域を邸園外に出ずに回避できるよう高エリアの通行路は必要。そのために、国道側の歩道の利用や、地下トンネルの設置、南側の太平洋岸自転車道に屋根をかけてその上を利用することなどを検討してほしい。	本計画の「動線計画」において、旧滄浪園及び西園寺別邸跡の区域、旧大隈別邸及び陸奥別邸跡の区域をつなぎ、一体的な利用を図るため、国道1号の歩道及び太平洋岸自転車道等の海側それぞれを「広く検討を要する動線」とし、今後、関係機関と調整を行い、邸園内外の接続方法を検討することとしています。また、「今後の検討事項(2)邸宅等をつなぐ動線の具体的なルートの設定と整備手法」において、「各邸宅と庭園が一体的な場として利用できるようにするためには、旧滄浪園及び西園寺別邸跡の区域と旧大隈別邸及び陸奥別邸跡の区域をつなぐ動線の確保が必要であることから、周辺の住環境に十分に配慮しつつ、公園に隣接する道路や緑地の関係機関と連携して、具体的なルートの設定と整備手法を検討する」としています。 いただいたご意見も参考しつつ、今後の検討を進めてまいります。
動線計画	大隈邸地区から滄浪園地区へ松林沿いに移動できるように検討してみてください。		
動線計画	昨年、公開された時に、庭園だけが見学ができました。邸宅の方は見学する機会には恵まれませんでした。連日のように朝早くから大勢の見学者が、大磯プレイスの前を巡って旧滄浪園で見学受付をしていました。今回の説明の「動線計画」を確認しますと、大磯プレイスの前の道は「広く検討を要する動線」と記されています。この道はとても狭く、自転車等も通ったりすることもあります。ここを見学者が通ることになると、大磯プレイスから車が出かける時は、見学者の列が狭くことと思いますので、なかなか出ることができなくなるのではないかと心配しています。万が一、事故にでもなったら大変なことでしょう。ガイドボランティアの方は分かっておられると思いますが、見学者は、ここに集合住宅があって、生活している人がいるなんていうことは想像もしていないことと思います。この点について、いろいろな角度から、検討していただけたらと思います。	記念公開では、連日大勢の見学者が訪れ、国道1号の歩道を歩いていた。来園者の列が狭くと、近隣住宅から車の出入りがしにくくなるのではと懸念している。また、自転車等も通るため、事故が起こったら大変である。いろいろな角度から、検討してほしい。	

邸園境界部の植栽について 植栽計画

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
境界部の植栽	旧池田邸の境界付近の住民です。旧池田邸の森が気に入って住んでいます。このエリアを交流広場にする計画に反対します。特にありふれた芝生広場や箱物を建てるのは悪しき事業だと考えます。静かに散策できる程度が良いと思います。竹林を取り除くのはやむを得ないかもしれませんが、その場合、周辺住居との境界線扱いには、騒音を避へいる樹木の植林をお願いします。こゆるぎ緑地など、林の木はできるだけ切除しないようお願いいたします。	西園寺別邸跡の境界付近に居住し、旧池田邸の森が気に入っている。ありふれた芝生広場や箱物ではなく、静かに散策できる程度が良い。 周辺住居との境界線扱いには、騒音を避へいる樹木の植林をお願いします。	
境界部の植栽	邸園開園後のお願いになるかと思いますが、旧池田邸の北側に植えられているヒマラヤ杉についてです。ヒマラヤ杉のメンテナンスについては、旧持ち主である三井住友銀行の担当の方にも時々お願いして参りました。その度に、枝を切っていただいております。緑は重要ですが、この温暖な大磯の地でこれまで通り冬に暖かく暮らしていけますよう、ヒマラヤ杉によって当方への太陽光が遮られないように管理をお願いいたします。	西園寺別邸跡の敷地内のヒマラヤ杉の剪定に関して、近隣住居への日照確保の配慮をお願いします。	
境界部の植栽	プライベートの確保についてです。当方の敷地全体は旧池田邸の敷地より2〜3メートル低くなっている為、旧池田邸からは容易に当方や隣家の屋敷や庭を見下ろすことができます。2〜3メートルの高さの段差部分には石垣が積み、境界線となっています。 基本計画案のP21敷地断面イメージでは、この段差が描かれていないのですが、そのページに西園寺公望邸跡・旧池田成彬邸の「山への眺望、2Fの窓から山並み眺めることが可能」とあります。2Fの窓からは当方や隣家の方々の生活空間も容易に見渡してしまうので、こちらも遮蔽植栽などの対策をよろしくお願いいたします。	西園寺別邸跡の2階から近隣住居が見渡せちゃう。 邸園外周部は近隣住居のプライベートへの配慮として、境界部の遮へい植栽などの対策を行ってほしい。	本計画の「植栽計画 ⑥外周植栽」において、「近隣施設との境界部など本邸園の外周部においては、周辺の土地利用や環境、景観に配慮し、遮蔽植栽等を検討する」としております。ご意見も参考にしつつ、具体の検討を進めてまいります。
境界部の植栽	町道西小磯55号線、56号線は近隣住宅と隣接しており、目隠しのための植栽等を施すこと。(最低限、立位で相互の目線が遮断される高さを要する)		
境界部の植栽	池田邸西側の住宅地の住環境を配慮した植栽によるプライベートの保護	町道や境界部には遮蔽植栽をお願いします。	
境界部の植栽	稲荷松緑地について、基本計画図では、緑地内に遊歩道のようなものが描かれていますが、基本的に「歩道」は管理用も含め、現状の緑地の外側に遊蔽の植栽を隔てて作ってください。		
住環境への配慮	周りは閑静な住宅地ですので、プライベートや騒音の配慮をお願いします。また公園周りのメンテナンス等住民との意思疎通をお願いします。	プライベートや騒音の配慮をお願いするとともに、公園周りの維持管理に関しては、住民との意思疎通をお願いします。	

緑地の保全について 植栽計画

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
緑地の保全	■交流広場についての提案 私は、交流広場となる予定に隣接する地域(青年会館近隣)の住人です。 こゆるぎ緑地に隣接する森の現状と、整備計画に対する提案をさせていただきます。 □豊かな生態系が現存する生物たちの憩いの森、住民たちの癒しの森となっております。 ○今年も3月5日月曜日から連日、うぐいすの鳴き声を確認することができました。 ○4月現存する柑橘樹木周辺に、クロアゲハが飛来します。 ○5、6月ツバメがこの森周辺を飛び回ります。 ○夏季ミンミンゼミ、アラバゼミ、ツクツクゴウソウ、ヒグラシ等、複数種類の昆虫が生息していることを確認しております。そのほかにも、様々な野鳥、昆虫類、は乳類が生息しています。 ○秋季赤とんぼの群れが、山から下りてきて森周辺を飛び回ります。 このように、現在も生物たちが、豊かな生態系を形成し、住民たちにとって、季節の変遷を知らせてくれる、癒しの森となっております。是非、これら希少な生態系を活かし、一定区間確保し、「癒しの森のゾーン」とし、江戸時代から続く松並木と共に、歴史的価値ある構造物と共に、時を重ねるごとに、さらに歴史的価値を深めて頂きたいと考えます。 この邸園が、100年後にも価値ある資産となるよう、価値のない殺風景な広場とならないような整備をお願い申し上げます。	交流広場となる予定地は、豊かな生態系が現存し、生物たちの憩いの森、住民たちの癒しの森となっている。 これら希少な生態系を活かし、一定区間「癒しの森のゾーン」としてほしい。	交流広場の整備にあたり、旧池田邸の区域内の松林については、一部の区域が特別緑地保全地区に指定されていることも踏まえ、「植栽計画」において、過密化した松の間伐や枯れ木の処理等を行い、保全を図ることとしています。その上で、「交流広場の整備に関しては、過密化した竹や、ハリエンジュ等の外来種を間伐し、現存する松の高木を活かした松の疎林と開放的な草地の広場を目指す」としています。 既存樹木の保全を基本としながら交流広場の整備を行うため、ご意見も参考にしつつ、具体の検討を進めてまいります。
緑地の保全	海への景観確保のため、松林などの伐採が予定されているが、町民として、ここ数年の台風は数も増加し、強度も増している。西湘バイパスが毎年破損していることから、防風林としての機能を重視すべきである。参照されている各種の公園は、このような恐れのない地区の例であり、例としては不適切である。	海への景観確保のため、松林などの伐採が予定されているが、防風林としての機能を重視すべきである。	本計画の「植栽計画 ②松林の保全」において、「過密化した松の間伐や枯れ木の処理等を行い、松林の保全を図る」としており、特別緑地保全地区に指定されている松林等については、「地域住民の健全な生活環境を確保すること等を目的とした緑地を守る制度であることに鑑み、既存樹木の保全を基本としつつ、樹木の間伐等を行う」としております。ご意見も参考にしつつ、具体の検討を進めてまいります。
竹林の活用	旧西園寺邸には竹林が広がっているようなので、散策路の中で活用されてはどうか？	旧西園寺邸跡に広がる竹林を散策路の一部として活用してはどうか。	交流広場については、「植栽計画 ③交流広場の整備」において、「過密化した竹や、ハリエンジュ等の外来種を間伐し、現存する松の高木を活かした松の疎林と開放的な草地の広場を目指す」としております。ご意見も参考にしつつ、既存の竹林も活かした広場空間の整備を検討してまいります。



歴史の学習や展示について

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
歴史学習・展示	展示資料の内容については慎重さが求められます。秋の一部公開での説明で郷土資料館との違いの指摘がありました。明治150年記念関連施設がきっかけで今回の整備となりましたが、検討会議も全て読み「選定ありき」も感じました。「立憲政治」といえるのが、明治期が後世に残したものは宝石混合、功罪、光と影とさまたまます。検証のうえ、展示されるようにしてください。	明治期が後世に残したものは宝石混合、功罪、光と影とさまたまます。展示資料の内容については事実を検証の上、慎重に行うべき。	本計画の「基本方針」において、本部園の整備及び管理運営にあたっては、「訪れた人々が、往時に思いを馳せながら、歴史的資料のアーカイブ化や展示等の取組により立憲政治の確立等の歴史や意義を学び、理解を深めることのできる空間を整備」することとしています。展示等の実施にあたっては、関連する歴史文化施設等と連携を図り、いただいたご意見も参考にしつつ、来場者が歴史を多面的・多角的に考え、学ぶことのできるよう展示等を検討してまいります。
歴史学習・展示	現在の環境が残されるのは良い事だと思いますが、残って観光資源とするのも目的の一つでしょうか。観光第一よりも資料館的な役割を重視し、様々な人が多面的に歴史を捉え考える場であってほしいです。	観光第一よりも資料館的な役割を重視し、様々な人が多面的に歴史を捉え考える場であってほしい。	
歴史学習・展示	近代日本の礎を築いた伊藤博文をはじめ多くの宰相が邸宅をかまえた風光明媚で静かな環境の小海緑地、大磯で日本の将来を考えた思いに鑑み、明治記念大磯邸園を観光と世界の中の日本が進むべき道を考え学べる邸園にしてほしい。	明治記念大磯邸園を観光と世界の中の日本が進むべき道を考え学べる邸園にしてほしい。	
歴史学習・展示	明治憲法の草案経過について 草案審議の大部分は金沢の夏島の伊藤別邸を中心に行われたと記録されています。 については、大磯邸園に関する展示コーナー等を新設する際には、夏島の草案審議経過の経路でも良いので、触れていただいた方が良いと思います。宜しくご検討下さい。 尚、伊藤博文は明治23年10月小田原に滄浪閣を建て明治29年5月滄浪閣を大磯に移した。明治27年5月から「民法法典原案」を執筆、民法全5編が明治31年7月に施行された。	明治憲法の草案審議の大部分は伊藤博文全沢別邸（神奈川県横浜市中）で行われたことから、展示コーナー等を新設する際には、全沢別邸での草案審議経過にも触れてほしい。	本計画の「今後の検討事項（3）立憲政治の確立等に関する歴史的資料の展示等のあり方」において、「『明治150年』関連施策の一環として、立憲政治の確立等に関する意義や歴史を学び、次世代に遺していくため、国立公文書館や旧吉田茂邸等の関連する歴史文化施設と連携し、歴史的資料の展示や情報発信、アーカイブ化のあり方を検討する」としています。ご意見も参考にしつつ、具体の検討を進めてまいります。
展示	<いくつかの利用プラン> 明治、大正、昭和期の国が保有する美術工芸品を企画展示するスペースの創設。（仮称「明治150年記念美術工芸館」） 海外美術、博物館は現在所蔵品の原産国への返還が問題となっている。 海外美術館と提携し、サテライト美術館として海外に有る美術工芸品の里帰り展示を行う。また、明治期に流出した漆芸作品や仏像等の日本で行えない補修研究センターとしての機能を持たせ積極的里帰りの受け皿とする。補修作業等一部見学出来る工夫をし、補修への理解を後継者育成のきっかけとする。ワークショップ等も企画することで選元の幅を広げる。	明治、大正、昭和期の国が保有する美術工芸品を企画展示するスペースを設置し、明治期に流出した漆芸作品や仏像等の日本で行えない補修研究センターとしての機能を持たせ、積極的里帰りの受け皿とすべき。	
歴史学習・展示	大磯滄浪閣と大隈邸の間が、展示物や資料では空白になっているので空欄に「旧鍋島邸」の名を入れることができないかご検討下さい。もし実現すれば、連続して別荘が並んでいたことが明確になりこの地域が別荘群であったとも理解できると思います。 本件は、現マンションの住人*と話し合いをし、了解もすることが大事です。それには時間がかかるがぜひ進めて下さい。（*：例えばマンション管理組合） （参考） 「旧鍋島邸」は民間会社に売却後、所有者が分譲マンション（大磯プレイス）を2000年に建設し販売された。	展示物や資料では空白になっているので空欄に「旧鍋島邸」の名を入れることができないか。 記載することで連続して別荘が並んでいたことが明確になり、この地域が別荘群であったことも理解できる。	本計画の「1. 明治記念大磯邸園の概況」において、大磯がかつて政財界人や文化人の別荘地として発展していたことを記載し、図には「旧鍋島邸」も記載しており、本部園での今後の展示等においても情報発信してまいります。
歴史学習	コンセプトはよくわかりました。 しかし、単なる観光施設、外から人を呼びこむだけのものではなく、町民の憩いの場の要素を含んだものにしてほしい。 また、町内の子供たちにとって教育的意味を持たせてほしい。郷土の財産なのでから。	町内の子供たちにとっての教育的意味を持たせてほしい。	本計画の「管理運営方針（3）関係機関や地域活動団体等との公民連携」において、教育機関等の多様な主体の参加と連携により、歴史的遺産の中で楽しみながら、歴史学習や邸園文化を体験できる交流イベント等を行うことで、邸園文化の発信と新たな文化の担い手育成を目指すとしており、町内の小中学生をはじめ、学校施設との連携も今後検討してまいります。

管理運営について

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
緑地の管理	当該地の維持管理については町と開発業者との間で「公共施設に関する管理協定書」を締結しているのはご存知のとおりですが、現状では町は本協定書に定められている義務を長年怠っています。稲荷松緑地の松の管理に関しては、「里親」に協力してもらっているのご認識のようですが、実際「里親」の制度ではほとんど管理できていない、個人の負担になっています。しかも、メンバーは既に高齢であるため、今後活動を続けていけると思えません。緑地内の植栽を適正に管理するには町の財政状況に照らすと松の本数が多すぎると感じます。今後明治折念大磯邸園の一部として整備される際、町に大きな負担なく適正な管理ができるよう、植栽の種類、本数についてもご配慮いただけますようお願いいたします。 稲荷松緑地は計画地内の他の特別緑地保全地区と異なり、直接住居の住環境に影響が及ぶ部分です。従ってその管理は、他の特別緑地保全地区とは別の扱いとするよう町に指導してください。なお、稲荷松緑地は防砂林には指定されておらず、樹木の高さ3m以上は協定書で定められている決まりであり、隣接マンションはその条件で分譲されていることを改めて記載させていただきます。	広い場所の松林の管理を町が十分できるか心配。稲荷松緑地の松の管理は、里親制度になっているが、十分な管理ができていない。大磯町の財政状況に合わせ、適切な管理が行える植栽樹種及び規模を検討すべき。	町としては、厳しい財政状況を踏まえ、今後、国及び県とともに、入園料徴収の可能性や費用の削減策などの検討を行い、適切かつ継続的な維持管理に努めてまいります。 なお、マンション南側の松林（稲荷松緑地）の管理は、町と開発事業者との間で「公共施設に関する管理協定書」を締結し、目視による日常的な点検、枯葉等の軽微な清掃等は管理組合及び管理会社が行い、定期的な点検、剪定、施肥、立枯れ時の撤去、新設等は大磯町が行うとしています。 平成29年度からは、大磯町公園緑地里親制度実施要綱に基づく合意のもと、予定のない町が行う維持管理について、「里親※」にご協力いただいているところです。 今後、当該松林については、明治記念大磯邸園の一部となりますので、里親並びにマンション管理組合及び管理会社と、管理協定書や合意書の内容について協議し、当該緑地の管理の方向性について、検討してまいります。 ※里親：町との合意に基づいて、公園・緑地を自主的に美しく、きれいにする活動を行う団体又は個人
緑地の管理	マンションの松の手入れを申し入れてもなかなかしてもらえないのに、大磯邸園のように広い場所の松が、はたしていつまでも枯れさせるのは大変な努力が必要ではないか。町の管理が十分できるか心配である。		
入園料	入場料をとるか、町民割引はあるのか？公園というのなら無料で散策できるスペースはあるのか？	邸園の入園料は徴収するのかわりに、有料にするのであれば、町民割引や無料区域はあるのか。	本計画の「今後の検討事項（4）一体的かつ効果的な管理運営の仕組みと体制」において、「国と大磯町が連携し、一体的な場として歴史的遺産を適切に保存・継承するため、利用ルールや料金徴収等の管理運営の仕組みを検討する」としています。料金徴収の収め方や範囲等の具体的については、今後検討してまいります。
入園料	もし、有料にするとしても町民は入場無料～半額、小中学生は無料など。		
公民連携	明治の歴史に関心のない若い世代や外国人の方にとっても魅力的な拠点になるよう計画整備をお願いしたいです。そのためには、「大磯又は明治記念大磯邸園に行きたい」というきっかけづくりが第一歩になり、実際に来たときに感動を与える中身が必要になります。アイデアづくりのプロセスから若い世代や外国人を巻き込むことで、より幅広い層にとって魅力的なものを創りあげることが可能になるでしょう。	明治の歴史に関心のない若い世代や外国人の方にとっても魅力的な拠点になるよう計画・整備をお願いしたい。アイデアづくりのプロセスから若い世代や外国人を巻き込むべき。	本計画の「管理運営方針（3）関係機関や地域活動団体等との公民連携」において、「湘南庭園文化祭や地域観光イベントの開催団体、ガイドボランティア等の地域活動団体、教育機関等の多様な主体の参加と連携により、歴史的遺産の中で楽しみながら、歴史学習や邸園文化を体験できる交流イベント等を行う」としています。多様な方々の参加・連携によって、国内のみならず国内外の来場者にも魅力的な公園となるよう、検討を進めてまいります。
公民連携	大磯を含む日本の次の150年へ向けて町民が参加発信できる文化施設にしたい。	日本の次の150年へ向けて町民が参加発信できる文化施設にしたい。	
公民連携	大磯邸園は、国や大磯町だけの財産ではなく神奈川県民（916万人）全体の財産として21世紀に残すべきものである。 湘南の邸園文化を象徴する行まの保全や歴史的遺産を活用した文化的発信、憩いと交流拠点の中に、神奈川のナショナルトラスト運動の視点を加えるべきである。 神奈川のナショナルトラスト運動は、財団法人かながわトラストみどり財団が30年以上の歴史を持って活動している。（以下「みどり財団」として記述） みどり財団の使命の中に、歴史的遺産の保全も含まれており、これまでの緑地保全（2771ha）の取組を評価し、新しい時代の県民運動の象徴として、本構想の中に位置づけをし、みどり財団の使命を果たせるような新たな方策を加えていくことは、国の責務である。 構想に含まれる「大磯こゆるぎ緑地」の一部は、県による買入れにより、みどり財団のトラスト緑地としてパンフレットにも記載されている。 構想における「一体的かつ効果的な管理運営の仕組みと体制」の中で、地域活動団体の参加、公民連携による効果的な管理運営体制の検討とあるが、この中のみどり財団連携の一つとして加え、広く神奈川県民の参加を促すことが、これからの大きな時代の流れの中で、これまでの国営公園と違う方策として望まれる。 私は、時代の流れは三つあると考えている。①地方の時代から地域時代②横ならびの時代から評価の時代③行政の時代から共生の時代。是非、横ならびの発想ではなく市民感覚を持って「共感」できる構想となることを期待している。	「大磯こゆるぎ緑地」の一部は、県による買入れにより、みどり財団のトラスト緑地になっている。 公民連携の中にみどり財団を連携の一つとして加え、広く神奈川県民の参加を促すこと。	本計画の「管理運営方針（3）関係機関や地域活動団体等との公民連携」において、「国、神奈川県、大磯町をはじめとする行政の連携とともに、教育機関や地域活動団体、民間事業者等との公民連携の取組が重要」としております。緑地の保全においても、関係機関と連携し、広く県民の方々が参加して頂けるような取組を検討してまいります。

利活用の提案	テレビドラマや映画撮影の場としての提供協力も検討してみてください。(大磯町のPRとしても良いと思います)	テレビドラマや映画撮影などロケ地としての提供協力を検討してほしい。	
利活用の提案	昔から名所旧跡は一時的に集客がありますが、リピータは少なく残念ながら「4～5年後あたりから開吉島」というのが現状です。 取組の基準として 1住環境のモデル地区としてアピールする。 2建築の研究対象とした取組みとする。 3日本庭園のモデルとした取組みをする。 4囲碁将棋などの名人戦の会場とする。 5華道、茶道などの団体に貸し出しをする。 6健康づくり団体に連携し「海」「海岸」「裏山の散策路」などを活用した癒し空間とする。(団塊の世代など向け) 7今後ますます「人間はどう生きるか?」について考える時代となるでしょう。じっくり思索する空間とする。 8湘南地域全体の一部(centralパーク的な)とした計画とすることで周辺地域からの期待も得ることができ。	リピーターを確保する取組を検討してほしい。	
利活用の提案	他の市民ではありませんが、以下の提案をお送りします。 ●P26～空間整備方針では、いろいろと建物を整備したいと交流の場とありました。どのような設計になるのかこれからだと思いますが、ただの展示やただの空間にならないようソフト面(イベントその他コラボ?)を見越して設計してほしい。いざ何かあっても、ハード面で吸収できないのでは意味が無いです。 ●私たち世代の興味をひき、かつ歴史を学べるような空間にするために 1インスタ映える景色・スポットを意識した庭園整備 …ガイドさんは陰奥邸から海が見えた。計画P42にも眺望のことがありますので、「写真」で「美しい・景色・歴史」が写るようお願いします。 2イベントの場としての活用 …歴史のコスプレや写真館としても趣があって素敵です。もちろん、周辺へ迷惑にならないよう諸々ルール作りは必須ですが(人の限定・ごみ管理他) 認知度を上げ、歴史を知り、興味がわいてからが本番です。それからも展示をみても遅くはないです。 建物の保存・活用のための資金源としても有効です。 歴史と趣、守るためにイベント開催時の入場料は高くても良いです。 現に他の施設では通常の入場料と同じかそれ以上です(時間単価で見ると) 大磯町の財源になるかも。	ただの展示や空間にならないようソフト(イベント等)を見越して設計してほしい。 また、インスタ映える景色・スポットを意識した庭園整備や、コスプレイベント等の場として活用を望む。	本邸園を繰り返し利用していただけるよう、魅力向上に向けた取組みは重要と考えております。いただいたご意見も参考にしつつ、今後の管理運営を検討してまいりたいと考えております。
利活用の提案	明治維新以降、現在までに至る歴史の変遷とその意義を、これからの若い世代に伝えるべく、インターネットやアニメを使ったわかりやすい発信を行って、若い世代にも人気のあるスポットになるような仕掛けを検討して欲しい。		
利活用の提案	アプリでも楽しめる・町を邸園文化の史跡に 私は位置情報アプリゲーム「ポケモンgo」で遊んでいます。 …遊んでいて町のこと、住んでいる場所の歴史を知ることが多いです。寺社仏閣、お地蔵様、○○城跡、○○跡地…。石碑があると、その場所がポイントと呼ばれるポイントになり(ユーザーが登録してゆく)通過するとアイテムがもらえたりします。「石碑をめぐる町歩き」なんて若い人は喜ばないけれど、「石碑+アイテム=町歩き」からの大磯町とのコラボ(お店とか)で楽しむことはできます。 …ポケモンgoの前進的なアプリ「Ingress」では町歩きのイベントとしてコラボしていました。 そのためには、大磯町にかつてあった邸園・庭園を含めた何かの設置、石碑でなくても。大きなくて良いのです。1mもあれば十分、説明文章も分かりやすく、No.○○とかで冊子と連動? ●大磯にかつてあったという庭園や邸宅も見てみたかったです。残念。 であればこそ、保存の意味も込めて「あった」ということを知らせるべきだと思います。良いように活用され、若者にも知ってもらえますように。長々と失礼いたしました。応援しています。	大磯にかつてあった邸宅や庭園がわかるような仕掛けをしてほしい。その際、若い世代にも興味を持ってもらえるよう配慮してほしい(インターネット、アニメ、位置情報アプリゲーム等)。	本邸園を幅広い世代に訪れて頂けるよう、ご意見も参考にしながら、歴史的資料の展示や情報発信のあり方や工夫を検討してまいります。
適切な管理運営	観光客が町の小さな商店にお金を落とさせていただく工夫をしてほしい。 ゴミ等をしっかりと持ち帰るよう徹底いただきたい。	商店にお金を落とさせていただく工夫をしてほしい。 ゴミ等をしっかりと持ち帰るよう徹底してほしい。	地域活性化に関するご意見について、町としては、平成25年8月に策定した「大磯町新たな観光の核づくり基本計画」に基づき、新たな観光拠点の創出や空き店舗等を活用した新規出店者への支援、町内の自転車による周遊性の向上などといった取り組みを進めています。また、昨年末に実施された明治記念大磯邸園の記念公開の際には、国にご協力を頂きながら、地元商工会による物産品の販売支援を行ったところです。町としては、引き続き、明治記念大磯邸園とも連携しながら、こうした大磯町の魅力の向上に資する取組みを進め、観光客・定住人口の増加及び地域活性化を図ってまいります。 ゴミに関するご意見について、町としては、平成24年4月に制定した「大磯町美しいまちづくり条例」に基づき、地域の環境美化の推進と清潔でさわやかな生活環境を確保するため、観光で訪れる来訪者の方に対しても条例の主旨が理解され、ごみの持ち帰りにご協力いただけるよう啓発活動を行ってまいります。
適切な管理運営	夜間の管理体制(保安連絡体制)に十分配慮すること。(浮浪者等の侵入)	夜間の保安体制に十分配慮すべき。	夜間の保安体制を含め、本邸園内及び周辺の住環境の安全確保に努めてまいります。
適切な管理運営	公開に際して、小中学生、町民は公開日を一般公開の前に設け、去年の様に申込制より入れない人がない様にしてください。	一般公開前は町民が全員入れるようにしてほしい。	公園としての公平な利用を確保しつつ、より多くの地域の方々を訪れて頂けるよう、管理運営の仕組みを検討してまいります。



本邸園と連携したまちづくりについて

ご意見の分類	ご意見(原文)	ご意見の概要	見解・対応
まちづくりの提案	<p>大磯町は県により「第4の観光の核作り指定都市」に認定され、これに伴い町で「大磯町観光の核作り推進協議会」を設置、私も町民の一人として関わってきました。</p> <p>大磯の観光のブランドコンセプトとして皆で協議した結果、大事な観光の指針として「大磯町は大磯の観光客がどっと押し寄せ町内の観光産業に多大な効果を及ぼすような、横浜・箱根・鎌倉の様な観光都市を目指さない。大磯を訪れた方達が様々な町民主体の活動に触れて頂き、大磯を好きになっていずれ大磯に住んでみたいと思っていただけを目標としています。その意味で「日本一住みたい町大磯」が最終目的であります。</p> <p>その観点で、「明治大磯記念邸園」の果たす役割を是非考えて頂きたい。</p>	<p>大磯観光のブランドコンセプトとして、「横浜・箱根・鎌倉の様な観光都市を目指さない。大磯を訪れた方達が様々な町民主体の活動に触れて頂き、大磯を好きになっていずれ大磯に住んでみたいと思っていただけを目標とする。」としている。その観点で、「明治大磯記念邸園」の果たす役割を是非考えて頂きたい。</p>	<p>明治期の立憲政治の確立等の歴史や意義を後世に伝えるとともに、湘南の邸園文化の象徴として、文化の発信や、憩いと交流の拠点となる場を創出するなど、本基本計画に則り、多くの方々に期待される邸園となるよう、引き続き、事業を進めてまいります。</p>
まちづくりの提案	<p>事業全体に関して景観や歴史保全の方法</p> <p>大磯町内の鶴島邸跡などがマンションに建てかわってしまったことは残念であり、歴史的な風景などを保存する必要性があることは認める。ただし、その方法は国等が費用をかけるという方法だけではない。大磯町は今後も空き家などが増加することが予想されるにも関わらず別荘跡地、田畑、丘陵などが開発されている。別荘跡地などの(再)開発を防止するためには、今回の計画対象地域のみならず、町域全体で土地利用の見直し、再開発の防止といった規制を行うことが重要であり、費用対効果の面からも効率的である。</p>	<p>歴史的な風景などを保存する必要性があることは認めるが、国が費用をかけるだけでなく、町域全体で土地利用の見直し、再開発の防止といった規制を行うことが重要であり、費用対効果の面からも効率的ではないか。</p>	<p>町では、大磯らしい景観を守り育むため、まちづくり条例や景観計画に基づき、建築・開発行為に対して、指導及び調整を行っております。いただいたご意見も参考にしつつ、今後の検討を進めてまいります。</p>
まちづくりの提案	<p>テラスを見てメールをさせて頂きました。</p> <p>基本計画への直接的な意見では無いかもしれませんが、レストランや売店等の設置も、街づくりと連携していかないと、継続的な集客は難しく、将来的には集客減により運営の負担も大きくなると思います。デスティネーションとしての魅力を高めるためにも、自然を残しつつ、駅からの人の流れの中に「店舗の誘致」や「見どころの整備」など、大磯町としての取り組みは必須と考えます(出店し易い条例の制定?)。</p> <p>近隣住民として、年末までの見学会期間に来場された方の声や雰囲気から、食事場所の不足や、当該施設以外の見どころが少ない(わかりにくい?)ストレスは感じられました。</p> <p>邸園内の飲食施設を考えているとは思いますが、来園者の目的は、常に施設見学プラスα(街並みや地元の名所、店舗など)かと思えます。大磯町にはその下地となるものは沢山あると思えますし、大磯邸園との相乗効果もあると思えますので、是非、大磯町に提案して頂ければと思います。以上、思いのままに勝手なことを書きました。</p>	<p>観光の目的地として魅力を高めるためにも、自然を残しつつ、駅からの人の流れの中に「店舗の誘致」や「見どころの整備」など、大磯町としての取り組みは必須と考えます。大磯邸園と街づくりと連携による相乗効果を望む。</p>	<p>町では、平成25年8月に策定した「大磯町新たな観光の核づくり基本計画」に基づき、新たな観光拠点の創出や空き店舗等を活用した新規出店者への支援、町内の自転車による周遊性の向上などといった取り組みを進めているところです。引き続き、こうした地域活性化に資する取組みを、明治記念大磯邸園とも連携しながら、推進してまいります。</p>
まちづくりの提案	<p>大磯に点在する明治期の著名人(役人軍人文人)の少なくとも指標などと簡単な説明文(看板)をつけて、現計画を中心としながらも、もっと広域的に保全紹介することを考えてほしい。国県町との役割の調整は難しいことは承知してはいます。</p>	<p>大磯町に点在する明治期の著名人の指標などと簡単な解説板を設置して広域的に保全・紹介することを考えてほしい。</p>	<p>町では、平成29年度に郷土資料館をリニューアルし、大磯町に關係する明治期を中心とした著名人ゆかりの品を展示などを開始したところです。</p> <p>また、大磯町と地域の民間企業や教育機関等の関係22団体で組織する「大磯町新たな観光の核づくり推進協議会」では、神奈川県から、新たな観光の核の候補地として大磯町が認定されたことを受け、計画的に事業を推進するため、平成25年8月に「大磯町新たな観光の核づくり基本計画」を策定いたしました。この核づくり基本計画では、飲食施設、公衆トイレ、案内看板などを整備し、観光客の満足度を高めてリピーターの増加につなげるとしております。</p> <p>いただいたご意見も参考にしつつ、今後の検討を進めてまいります。</p>
まちづくりの提案	<p>邸園地区間の移動方法および空地利用の提案</p> <p>2017年旧吉田茂邸オープンおよび2018年明治記念大磯邸園プレオープンに伴い、観光客の様子を間近で観察し、気づいた問題点と解決策を提案します。</p> <p>① 旧真壁豆腐店跡地を観光案内拠点として活用する</p> <p>② バス停 城山公園前(磯7 大磯駅行)の空地の活用</p> <p>※詳細別添参照(全2頁)</p> <p>【別添】明治記念大磯邸園 基本計画案に関する意見 平成31年3月19日</p> <p>邸園地区間の移動方法および空地利用の提案</p> <p>③ 旧真壁豆腐店跡地を観光案内拠点として活用する</p> <p>現状、県立大磯城山公園旧吉田茂邸および明治記念大磯邸園方面への移動は、徒歩およびバス利用が主であるが、バスの本数が1時間当たり2、3本と少なく、また徒歩でも約2.5km 30分の移動を必要とする。そこで別途移動手段として、<b>ペロタクシーや人力車、馬車など、環境に優しい近距離交通手段を導入し、その乗降場所として現在空地である旧真壁豆腐店跡地を提案</b>する。</p> <p>理由として、大磯駅から邸園へのアクセスは鴨立沢交差点から国道1号線に合流するため、旧東海道の街並みや照が崎海岸へのアクセスがあまり活用されていないように見受けられるためである。</p> <p>旧真壁豆腐店跡地は、照が崎海岸方面、高麗山方面への分岐場所に位置するため、中央拠点としてふさわしく、また国道1号線混雑時においても、太平洋自転車道や漁港方面へ誘導できるため観光手段の幅が広がることが期待できる。</p> <p>④ <b>バス停 城山公園前(磯7 大磯駅行)の空地の活用</b></p> <p>現状の城山公園前バス停付近は、県立大磯城山公園旧吉田茂邸を利用した後大磯駅へ戻る利用者が歩道にあふれることにより、歩道が狭く通行者の利用が不便になっている。また、広い邸園を歩いて見学後、疲労がピークの状態であったまま強い日差しの中、休日の国道1号線渋滞により遅延したバスを延々と待つ利用者の姿が見受けられる。そこで、現在<b>バス停城山公園前にある空地に、簡易屋根とベンチ及び自動販売機を設け、バス待合所として活用</b>する。また、ペロタクシーや人力車などの乗降場所としても活用する。近距離交通手段を導入し、乗降待合拠点を適宜配置することにより、邸園だけでなく地域の歴史と街並みの一体感が感じられるような観光計画を期待する。</p>	<p>・ペロタクシーや人力車、馬車など、環境に優しい近距離交通手段を導入し、その乗降場所として旧真壁豆腐店跡地(照が崎海岸方面、高麗山方面への分岐付近)を活用してほしい</p> <p>・県立大磯城山公園旧吉田茂邸最寄りバス停城山公園前にある空地に、簡易屋根とベンチ及び自動販売機を設け、バス待合所として活用してほしい</p> <p>(2017年旧吉田茂邸オープン及び2018年明治記念大磯邸園プレオープンに伴い、観光客の様子を間近で観察し、気づいた問題点と解決策として、邸園地区間の移動方法および空地利用を提案)</p>	<p>町では、「新たな観光の核づくり計画」において、町内を巡るための交通手段の充実化を目標の一つに位置付けております。いただいたご意見も参考にしつつ、今後の検討を進めてまいります。</p>

<p>地域の歴史的建物の保存要望</p>	<p>戦後、都市だけではなく、地方でもスクラップアンドビルドが繰り返され、大磯でも重要な歴史的建造物と伝統的な景観が、経済性・合理性優先の安上がりな建築に変わり、大磯のアイデンティの一つである明治時代の遺構の多くが失われつつあります。 大磯駅山側に位置する西郷従道の屋敷跡といわれる敷地（大磯町大磯字坂山付2678番1）も、風趣な趣のある門は売主により昨年末に壊され、歴史を感じさせる敷地を囲む明治時代の石垣と庭園も新たなデベロッパーの手に渡り破壊されようとしております。現在、大磯町有志により、従道の屋敷であるという確証を得るための調査をしています。 当屋敷跡は、大磯駅から1分の距離で、観光客も来訪しやすい場所にあります。当地を明治期の歴史的遺産として加えていただき、明治時代の美しい石垣を残し、壊された庭園を修復して、来訪者のために公開していただけるように望みます。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>大磯は東海道五十三次の宿場で、江戸時代初めには風光明媚な土地柄として、俳諧道場「鴨立庵」が開かれ、明治時代になると夏涼しく冬温暖な気候によって、明治20年（1877）、東海道線東京・国府津間が開通すると、政財界の別荘地となり、本宅・別荘を8名の宰相が構えたことで知られています。これはいずれも海側ですが、大磯駅北側の山のふもとにも別荘があり、山本公爵、奥に茶寮新井（さる公爵）はすでに跡形もなく、唯一西郷従道邸（伝承）が残存しています。高さ約2メートル、長さ200メートルになる明治期の遺構です。周辺住民はこの石垣と緑を「歴史と文化のまち大磯」の象徴として受け止めてきました。この高台の敷地からは相模湾が一望でき、この遺構を存続させることで、明治期の立憲政治を志した人々が文明開化の具現した大磯駅を核に、広く集まった歴史を体現することができます。しかし、今、石垣側の約1500坪（急斜面地700坪を含む）が売却される予定で、購入希望者は中堅の住宅販売業者と聞いています。規則を逃れる分割開発されと考えられます。また、石垣側の道幅は4メートルに満たぬ箇所があり、セッパックを余儀なくされて、石垣は破壊されます。斜面を削った大量の土砂を運ぶトラックは線路沿いの4メートル道路を行きかうことになり、周辺住民の車・歩行者は危険にさらされます。 願わくば、「明治記念大磯邸園」の一環として、この遺構を組み込んでいただきたいと思っています。 この庭が小堀遠州流の作庭と聞いています。昭和時代には遠州流の高弟峯島氏が所有しており（現当主に確認、現在孫代で音信不通）、遠州流の庭を復興することを願ひ、植林などの参加を呼び掛けたいと考えています。大磯回遊の出発・終点地として寄与することになります。早々のご検討を、ぜひぜひお願い申し上げます。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>大磯は東海道五十三次の宿場で、江戸時代初めには風光明媚な土地柄として、俳諧道場「鴨立庵」が開かれ、明治時代になると夏涼しく冬温暖な気候によって、明治20年（1877）、東海道線東京・国府津間が開通すると、政財界の別荘地となり、本宅・別荘を8名の宰相が構えたことで知られています。これはいずれも海側ですが、大磯駅北側の山のふもとにも別荘があり、山本公爵、奥に茶寮新井（さる公爵）はすでに跡形もなく、唯一西郷従道邸（伝承）が残存しています。高さ約2メートル、長さ200メートルになる明治期の遺構です。周辺住民はこの石垣と緑を「歴史と文化のまち大磯」の象徴として受け止めてきました。この高台の敷地からは相模湾が一望でき、この遺構を存続させることで、明治期の立憲政治を志した人々が文明開化の具現した大磯駅を核に、広く集まった歴史を体現することができます。しかし、今、石垣側の約1500坪（急斜面地700坪を含む）が売却される予定で、購入希望者は中堅の住宅販売業者と聞いています。規則を逃れる分割開発されと考えられます。また、石垣側の道幅は4メートルに満たぬ箇所があり、セッパックを余儀なくされて、石垣は破壊されます。斜面を削った大量の土砂を運ぶトラックは線路沿いの4メートル道路を行きかうことになり、周辺住民の車・歩行者は危険にさらされます。 願わくば、「明治記念大磯邸園」の一環として、この遺構を組み込んでいただきたいと思っています。</p>		<p>ご要望の箇所については、歴史的建造物としての十分な資料が得られていない状況と認識しており、本邸園の区域に追加することは考えておりません。本邸園の区域は、「明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組について（報告書）」（平成29年6月 明治期の立憲政治の確立等に貢献した先人の業績等を次世代に遺す取組に関する検討会）において、伊藤博文、大隈重信、陸奥宗光、西園寺公望という立憲政治の確立に重要な役割を果たした先人の建物等が、歩いて移動できる範囲に集中して残されていることが稀有なこととされていることを踏まえ、これらの邸宅等の保存・活用を図るために必要な区域として定めております。</p>
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>去る3月9日に催された明治記念大磯邸園基本計画説明会に出席して、回遊性を考慮することが望まれると思いました。城山公園と旧大磯邸のごとく海側と山側が一体となる回遊性と旧大磯邸に対して湘南平を例として考えてみる。そうすると大磯駅のすぐ裏側に大西邸の跡地が残されており、住宅開発業者に売り渡されようとしていると聞か。立派な石垣と庭石が残され、西郷隆盛の弟の別荘跡とも聞く。ここを園で復元取っていただき、茶庭と茶室が揃うならば、山側の溪流の水を元通り庭に引き込んだすばらしい景勝のスポットになって、回遊性を新たに創り出す処方になると思います。渋谷の隣の代官山は目下、日本の20世紀遺産20選のイコモスに選ばれてステキな街づくりの最先端と評価されたヒルサイドテラスから始まる旧山手通りの端には、隆盛弟の別荘跡が西郷公園となって残され、憩いの空間を与えています。大西邸跡地を有効に活かせば、新たな回遊性のスタート地点と終点のどちらにも対応する特徴は、駅からの最短距離にあることは言うまでもない。</p>	<p>西郷従道（西郷隆盛の弟）の別荘跡地とされる場所（大磯駅裏の山側）を明治記念大磯邸園区域に加えて、保存・活用してほしい。</p>	
<p>地域の歴史的建物の保存要望</p>	<p>大磯町北側には、旧西郷従道邸（伝承）の石垣が長さ ---FAX受信状態が悪く読めず--- 程度、明治記念大磯邸園の基本計画に含めて御検討をお願い申し上げます。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存要望</p>	<p>明治記念大磯邸園―これはいずれも海側ですが大磯駅北側の山のふもとにも別荘があり、以前あった二公爵の屋敷と庭園もつぎれ唯一西郷家が残存しており、周辺住民としても、この見事な石垣と緑を何としても____として歴史の証跡として、誇りとして町に残したい。唯一残されたこの地を「明治記念大磯邸園」に組み込まれることで再び大磯の地が明治期という夜明けの時代を文字でなく実際の____として残されることを望みます。これ一つが残ることで、大きく思いを馳せる拠り所になり、町民の____の安らぎ、誇りになることでしょう。開くところによると、作庭もかつては見事な価値あるものだと聞きます。それも修復出来れば、住民の力で種々に参加して、昔の緑を取り戻すことになるでしょう。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>今回の意見募集は明治記念大磯邸園基本計画（案）に関する内容についての意見であると分かっていますが、大磯全体を見据えた時、他にも貴重な場所が点在しています。基本計画に定めた場所以外にも目を向けて出来れば範囲を広げ、残していただきたいと思っています。駅（裏（北側）の石積擁壁には明治の遺構としてふさわしいものであるの何らか名前をつけて保存できたら良いのではないかと。駅南側石垣、南本町、茶屋町会館付近の石垣など、大磯には貴重な石垣があちこちに残っていることに着目して下さるとありがたいです。開発が始まれば150年続いた景色があつという間になくなってしまいます。この機会をのがさず宜しくお願いします。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>明治記念大磯邸園は、大変意義のある計画と考えます。大磯邸園の一つとして、現在は開発のため破壊されつつある西郷従道の別荘跡といわれる大磯町大磯字坂山付2678番1も、是非とも加えていただきたい。大磯駅から近く、公園にすることで、休憩しながら明治期の立憲政治理解を深めることが可能と考えます。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>当事業は、今までにない素晴らしい計画と思います。なお、大磯山側にある西郷従道の石垣に囲まれた屋敷跡（大磯字坂山付2678番1）も、計画に加えていただきたいと思います。今年の初めに屋敷の樹木が切られてしまいましたが、山側は林が残っており、銀閣寺邸園の丘のように散策が可能です。西郷従道屋敷跡との調査も行っていただければ希望いたします。ハイキングコースの途中にこのような庭園で息つける空地があれば大磯らしさでもあるかと思ます。また、津波の影響が懸念される町として将来避難場所にも活用できるかと思ます。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>明治記念大磯邸園事業に賛同いたします。大磯に、立憲政治に計画に加えていただき関わった人物として、西郷隆盛の弟西郷従道の別荘跡地とされる場所（大磯字坂山付二六七八番一）があります。これも、明治記念大磯邸園事業に加えていただき、公園として公開していただきたいと思っています。現在、道路に沿って石垣が残されていて、土地は売りに出されています。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>建物群及び緑地を明治記念大磯邸園として整備する事業は、素晴らしい計画と思います。西郷隆盛の弟である西郷従道の大磯町大磯字坂山付2678番1の別荘も伊藤博文邸などととも、石垣を残して公園としていただきたいです。</p>		
<p>地域の歴史的建物の保存・活用</p>	<p>&lt;全体としての希望&gt; 湘浪園を中心とする建物群を中心に城山公園、吉田邸、その他の邸園及び邸宅を視野に保存活用を希望。初期の木造別荘には、建築的評価を与えて良い作品が有り、意識的に保存をはじめないと今後激減喪失はまぬがれない。</p>		<p>本邸園の整備により、邸園文化の更なる醸成と発信等につながることを期待しており、「管理運営方針（2）」において、「神奈川県立大磯城山公園 旧吉田茂邸等の湘南庭園文化に関する地域の観光資源等との連携を図る」としてしております。このことを踏まえつつ、地域の歴史的建造物については、神奈川県が提唱する邸園文化圏再構築のもと、所有者、県民、地域団体、行政との協働により、保全活用の機運醸成に努めてまいります。</p>

事業の進め方について

ご意見の分類	ご意見（原文）	ご意見の概要	見解・対応
事業費	歴史ある建物と敷地が残り、大磯の行まいが保全されることを歓迎します。ただし、この経済下で税金を投入することには多少なりとも抵抗感がありますので、できるだけ「お金をかけない」整備と維持管理を望みます。	歴史ある建物と敷地が残り、大磯の行まいが保全されることを歓迎するが、できるかぎり「お金をかけない」整備と維持管理を望む。	
事業費	基本計画案には反対である。余りに計画が壮大で持続可能性が低いと言わざるを得ない。完成後のランニングコストが大きく、人口が減少していく将来、町民の負担となる人は明白である。国が費用負担を町に求める事がなくとも県が町に求める事はあり、それは町政を圧迫していく。既存のホールを利用して実証実験を重ねて必要な事を検証し、予算を圧縮してもらいたい。	多大な維持管理費が町民の負担となる懸念から、計画に反対。旧漁漁間のバンケットホールを利用して実証実験を重ねて必要な事を検証し、予算を圧縮してもらいたい。	「今後の検討（4）一体的かつ効果的な管理運営の仕組みと体制」では、「国と大磯町が連携し、一体的な場として歴史的遺産を適切に保存・継承するため、利用ルールや料金徴収等の管理運営の仕組みを検討するとともに、交流の拠点として地域の活性化に資するよう、地域活動団体の参加や民間活力の導入を含め、公民連携による効果的な管理運営を持続的に実施できるよう、体制について検討する」としています。今後の整備及び管理運営の検討に際しては、整備・維持管理費等を念頭に置き、民間活力の導入やコスト削減も含めて検討してまいります。
事業費	・出入口・フェンスなどは吉田邸に準ずる管理とし、国と大磯町で管理する ・大磯町の財政負担は将来に渡り少なくなるよう国をお願いします	町の財政負担を少なくしてほしい。	
事業費	費用について 基本計画ということであるが、費用に関する議論がまったくなされていない。大磯町が主体となって行う事業であり大磯町町民として、町の財政レベルからみて運営費含めて無理な規模の事業になっている可能性があると感じる。県民、国民としても同様の危惧がある。費用の概算を提示し、3者の負担割合も提示すべきである。 事業の範囲について 上記とも関連するが、対象地域はすべて民間の所有となっている。土地も含めて邸宅も取得して整備するのであれば事業費は巨額になる。一方で、土地、家屋とも取得せず、修復などのみをするのであれば、民間の施設の補修を公共の費用で負担することになる。事業範囲を明確にすべきである。	町の財政レベルからみて運営費含めて無理な規模の事業になっている可能性があると感じる。事業範囲や費用の概算を提示し、3者の負担割合を提示すべきである。	本計画の「1-1本事業の経緯」において、本邸園の計画区域のうち、国は、歴史的建物群及びその周辺の区域を中核的な区域として整備を行い、町は、特別緑地保全地区及びその周辺の区域における緑地等の保全・整備を行うことを記載しています。本計画に基づく事業費については、計画に基づき今後実施する邸宅の詳細調査や設計等を経て決定する。歴史的建物の保存・修復の方法や整備する施設の具体的な規模等を踏まえて算出してまいります。
事業費	まず、町が管理する緑地の今後のかかる予算が知りたかった。	大磯町区域に係る管理費が知りたい。	町の区域を含め、本邸園の維持管理費については、本計画を踏まえた検討を経て、整備する具体的な施設が定まった段階で算出してまいります。
説明会	先日の説明会に参加しました。国の若い方が熱意ある説明をされており、今後の整備が非常に楽しみになりました。パネルもわかりやすくイメージが湧きました。	今後の整備が非常に楽しみになった。大勢の前では聞きにくかったことも、個別に聞けたので些細なことも伺いやすかった。	
説明会	先日の説明会ではパネルをじっくり見ることができました。これまでの説明会では大勢の前では聞きにくかったですが、今回は些細なことも伺いやすかったです。国の課長さんの話もわかりやすく、町民の一人としてこのような邸園ができることが非常に楽しみになりました。		
説明会	3月9日の大磯町での「説明会」に参加しました。「説明会」の名の通り、説明に終始し、いわゆる質疑応答の場が設けられていなかったことに驚き失望しました。個別の質問には応じておりましたが、質問とそれに対する回答を共有することで気づきを得られ、良案を得る道筋がつか助けとなります。そのような場をチャンスとしてとらえればよい良い計画となるのにと本気で残念です。 もし、全体での質問時間があったなら	説明に終始し、個々の質問を共有できなかったことに不満を感じる。説明の後に、全体での質疑応答が設けられていなかったことに失望した。質問とそれに対する回答を共有することで気づきを得られると考える。	3月9日の説明会では、来場者の方々のご質問に個々に丁寧にお答えできるよう、全体での質疑ではなく、個別に対応する形式とさせていただきます。ご意見も参考にしながら、今後の事業説明や情報発信の方法を検討してまいります。
説明会	1これらの施設の所有状況はいまどうなっているのか？ 2記念大磯邸園完成後、国、県、町はどのような配分で運営を担当していくのか？有料施設？無料施設？など聞きたかった。納税者である町民がもっとも知りたいことのひとつだと思うからです。		
説明会	説明会に参加して大変驚いています。確かに説明会、今発表できる計画案の説明でした。しかし、町民が最も知りたいことはすべて個別の質問コーナーにとじこめ公開せず共有させないというのはいかなるものなのでしょうか。		
説明会	若い方が一生懸命説明されていますが、町役場からは何も説明がないのはどうしてでしょうか。せっかくこのような邸園が整備されるのに、町としては何をしておくつもりですか。アクセスの話、費用の話、色々あります。そのような細々とした話もありますが、この邸園整備を機に、町の活性化のために何ができるのか、例えば飲食施設の整備など観光のためにできることはたくさんあるはずです。大磯は今注目されていると感じます。町の覚悟もきちんと町民に対して説明していただきたいということを見ます。	国だけでなく、町の考えも説明してほしい。	町としては、平成25年8月に策定した「大磯町新たな観光の核づくり基本計画」に基づき、引き続き、地域活性化に資する取り組みを明治記念大磯邸園とも連携しながら推進してまいりたいと考えています。
事業説明	今後共、オープンな議論の場を提供してください。原資は私たちの税金ですので。	今後共、オープンな議論の場を提供してほしい。	
事業説明	大磯プレイスの住民に説明をする機会を設けていただいたら幸いです。	近隣住民に説明する機会を設けてほしい。	
事業説明	・公園管理者の選定及び管理運営方法の詳細については、事前に地域住民を対象とした説明会を開催すること。 ・公園公開のための工事の施工に当たっては、事前に地域住民を対象とした説明会を開催すること。	公園管理者の選定及び管理運営方法の詳細及び、工事については、事前に地域住民を対象とした説明会を開催すべき。	今後も本事業の進捗に応じて、適宜、情報提供に努めてまいります。その際、国と大磯町が連携し、町民の皆様への周知を図ってまいりたいと考えています。
事業説明	建物など最終案が作成された時点で説明会をお願いしたい。	建物など最終案が作成された時点で説明会をお願いしたい。	
事業説明	本意見書に関する国営昭和公園事務所のページには、大磯町のHP上のリンクからたどり着くことができませんでした。私の知識不足によるものかもしれませんが、一般の町民が「昭和記念公園事務所」のホームページにその都度行くのではなく、大磯町のHP上のリンクから容易に明治記念大磯邸園に関する全ての最新情報にたどり着けるようご配慮ください。	大磯町HP上のリンクから明治記念大磯邸園の最新情報にたどり着けるようにしてほしい。	大磯町では、できる限り、町民の皆様に分かりやすいホームページとなるよう努めてまいります。
事業説明	パブリック意見はきちんと公開してください。	パブリックコメントの意見はきちんと公開すること。	パブリックコメントでいただいたご意見につきましては、意見に対する見解・対応を記載の上、国営昭和記念公園事務所 明治記念大磯邸園ホームページにて公開させていただきます。